

【著書】

- ・ふるさと学習誌 石見銀山―鉱山の技術と科学―[監修](大田市外2町広域行政組合、2000年)
- ・ふるさと学習誌 石見銀山―いも代官井戸平左衛門の事績―[監修](大田市外2町広域行政組合、2001年)
- ・ふるさと学習誌 石見銀山―銀を作る 灰吹法―[監修](大田市外2町広域行政組合、2001年)
- ・ふるさと学習誌 石見銀山―野外手帳―[監修](大田市外2町広域行政組合、2002年)
- ・ふるさと学習誌 石見銀山―歴史ノート―[監修](大田市外2町広域行政組合、2003年)
- ・世界遺産石見銀山を歩く[監修](山と溪谷社、2007年)
- ・石見銀山を歩く―ガイドブック―[監修](山陰中央新報社、2007年)
- ・銀山社会の解明―近世石見銀山の経営と社会―[単著](清文堂出版、2009年)

【論文等】

- ・道の確定と現状 大田市(『島根県歴史の道調査報告書―銀山街道―』第3集、島根県教育委員会、1996年)
- ・石見銀山の史的概説(『The Fourth International Conference on the Beginning of the Use of Metals and Alloys』、国際金属歴史会議実行委員会、1998年)
- ・江戸幕府の貨幣政策と石見銀山(『資源・素材』1998(1)、資源・素材学会、1998年)
- ・石見銀山の吹屋の経営実態について(『資源・素材』1998(2)、資源・素材学科、1998年)
- ・石見銀山附地役人についての一考察(『日本海地域誌研究』第14輯、日本海地域誌研究会、1998年)
- ・近世石見銀山領における諸鉱山の概要とその支配(『日本鉱業史研究』第35号、日本鉱業史研究会、1998年)
- ・灰吹銀の丁銀引替歩合と関連歩合の諸式について(『日本鉱業史研究』第36号、日本鉱業史研究会、1998年)
- ・石見銀山附地役人の身分問題について(『郷土石見』第48号、石見郷土研究懇話会、1998年)
- ・石見銀山の無宿人労働に関する一史料(『日本鉱業史研究』第39号、日本鉱業史研究会、2000年)
- ・江戸幕府の貨幣政策と鉱山の動向―灰吹銀引替制を問題として―(『島根史学会会報』第41号、島根史学会、2001年)
- ・石見銀山を世界遺産に(『八雲立つ風土記の丘』第167号、八雲立つ風土記の丘、2001年)
- ・江戸中期における石見銀山の経営(『石見銀山関係論集』、島根県教育委員会、2002年)
- ・大森鉱山旧藤田組三木工場跡／大森鉱山坑道／大森鉱山永久工場施設群／大森鉱山永久坑溶解場煙道／石見銀山資料館(旧邇摩郡役所)(『島根県の近代化遺産―島根県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書―』、島根県教育委員会、2002年)
- ・石見銀山奉行代官と鉱山政策(『石見銀山―安養寺・大安寺跡・奉行代官墓所外―』、島根県教育委員会、2003年)

- ・輝き甦る石見銀山(『週刊日本遺産―出雲大社・石見銀山遺跡―』第 15 号、朝日出版社、2003 年)
- ・石見銀山の銅山吹について(『日本鉱業史研究』第 46 号、日本鉱業史研究会、2003 年)
- ・古文書・文献調査(『石見銀山遺跡ニュース』第5号、島根県教育委員会・大田市教育委員会・温泉津町教育委員会・仁摩町教育委員会、2003 年)
- ・石見銀山附地役人について(『石見銀山―長楽寺跡・石見銀山附地役人墓地(河島家・宗岡家)―』、島根県教育委員会、2004 年)
- ・川上家文書／法専寺文書／萬屋文書(『<平成 15 年度>石見銀山歴史文献調査団 古文書調査報告書』、島根県教育委員会、2004 年)
- ・文献調査(『石見銀山遺跡ニュース』第8号、島根県教育委員会・大田市教育委員会・温泉津町教育委員会・仁摩町教育委員会、2004 年)
- ・田儀櫻井家の産鉄流通について(『田儀櫻井家―田儀櫻井家のたたら製鉄に関する基礎調査報告書―』、多伎町教育委員会、2004 年)
- ・銀山と周辺地域の近世集落と交通(『石見銀山街道―鞆ヶ浦道・温泉津沖泊道調査報告書―』、島根県教育委員会、2004 年)
- ・石見銀山街道／和紙の道と魚の道／西廻り海運と山陰地域(道重哲男・相良英輔編『街道の日本史―出雲と石見銀山街道―』38、吉川弘文館、2005 年)
- ・近世期石見銀山における生産資材の調達とそのシステム(『古代文化研究』第 13 号、島根県古代文化センター、2005 年)
- ・山中家の由緒書について(『石見銀山歴史文献調査報告書』、島根県教育委員会、2005 年)
- ・温泉津港湾の諸港と機能―温泉津・沖泊を中心に―(『石見銀山街道―鞆ヶ浦・沖泊集落調査報告―』、島根県教育委員会、2005 年)
- ・近世期松江藩領における鈔の経営と鈔株について―一つの鈔場の経営をめぐって―(『鉄師絲原家の研究と文書目録―絲原家文書悉皆調査報告書―』、横田町教育委員会、2005 年)
- ・環境の視点から見た石見銀山(『石見銀山遺跡調査ノート』4、島根県教育委員会・大田市教育委員会・温泉津町教育委員会・仁摩町教育委員会、2005 年)
- ・長野家文書解題／宗岡家文書解題(『石見銀山歴史文献調査報告書』Ⅱ、島根県教育委員会、2006 年)
- ・江戸時代における銀山町の人口動向と社会構成について(『宗門改帳からみる山陰の近世社会』、山陰宗門改帳研究会、2006 年)
- ・近世期石見銀山における吹屋の経営について(『島根史学会会報』第 43・44 合併号、島根史学会、2006 年)
- ・鉄宿史料から見る櫻井家の鉄流通の諸相(『櫻井家たたら研究と文書目録―櫻井家文書悉皆調査報告書―』、奥出雲町教育委員会、2006 年)
- ・石見銀山の山師について(『石見銀山遺跡調査ノート』5、島根県教育委員会・大田市教育委員会、2006 年)
- ・大久保長安の新出史料について(『日本鉱業史研究』第 54 号、日本鉱業史研究会、2007 年)
- ・石見銀山附地役人の身分と通婚、家族(『宗門改帳からみる山陰の近世社会』その2、山陰宗門改

- 帳研究会、2007年)
- ・江戸中期における石見銀山の支配と経営について(相良英輔先生退職記念論集刊行会編『たたら製鉄・石見銀山と地域社会―近世近代の中国地方―』、清文堂出版、2008年)
  - ・解説「銀山諸事二付認書差上控について」(『石見銀山歴史文献調査報告書』Ⅳ、島根県教育委員会、2008年)
  - ・越堂鋳の鉄流通について(『田儀櫻井家たたら製鉄遺跡発掘調査報告書―平成16～18年度の調査―』、出雲市教育委員会、2008年)
  - ・島根県大田市、世界遺産、石見銀山の洞窟鑑札と鍾乳石 | 沢勲・仲野義文(『大阪経済法科大学科学技術研究所紀要』12-1、2008年)
  - ・中村家の古文書から見る江戸時代の暮らしと文化―恋文から大福帳まで―(『中村家古文書あ・ら・か・る・と―「桜江古文書を現代に活かす会」報告書―』、桜江古文書を現代に活かす会、2008年)
  - ・広島大学中央図書館所蔵の「屋敷坪数取調帳」について(『石見銀山遺跡調査ノート』7、島根県教育委員会・大田市教育委員会、2008年)
  - ・近世期温泉津町の概要と町屋敷(『重要伝統的建造物群保存地区・大田市温泉津伝統的建造物群保存地区保存対策調査報告書』補訂版、大田市教育委員会、2009年)
  - ・出雲国田儀浦関係の海運史料について(『田儀櫻井家たたら史料と文書目録』、出雲市教育委員会、2009年)
  - ・石見銀山と灰吹法(『キリシタン大名の考古学』、思文閣出版、2009年)
  - ・本の紹介 代官川崎平右衛門―時代が求めた才覚の人(『多摩のあゆみ』第134号、たましん地域文化財団、2009年)
  - ・銀鉱山王国の原点石見銀山(『戦国日本―日本の源は地方にあり!―』、郷土出版社、2009年)
  - ・石見笹ヶ谷銅山に関する基礎的研究―主として宝暦・明和期を中心に―(『世界遺産石見銀山遺跡の研究』1、島根県教育委員会、2010年)
  - ・「宗門人別改帳」に見る明治初期の銀山町の様相(『宗門改帳からみる山陰の近世社会』その3、山陰宗門改帳研究会、2010年)
  - ・石見銀山領の海防と台場について(『十六島湾台場跡群発掘調査報告書―網屋浜台場跡・河下台場跡―』、出雲市教育委員会、2010年)
  - ・江戸幕府の財政を支えた石見銀山―ハブスブルク家と江戸幕府―(『歴史読本』55-11、2010年)
  - ・18～19世紀における石見銀山での銅生産について(『日本鉱業史研究』第60号、日本鉱業史研究会、2010年)
  - ・現地報告 石見銀山遺跡―世界遺産登録、その後の課題と展望(『地方議会人』42-4、中央文化社、2011年)
  - ・石見銀山資料館史―地域における小規模博物館・資料館の存在意義― | 藤原雄高・平野芳英・仲野義文(『しまねミュージアム協議会共同研究紀要』創刊号、しまねミュージアム協議会、2011年)
  - ・近世石見銀山における鉱山技術の特質についての基礎的研究―灰吹法を中心として―(『世界遺産石見銀山遺跡の研究』2、島根県教育委員会、2012年)
  - ・江戸中期における田部家産鉄の流通とその特徴(『田部家のたたら研究と文書目録―田部家文書

- 調査報告書一』上巻、雲南市教育委員会、2012年)
- ・世界に広がる銀の道(『「海」の交流―古代から近世までの瀬戸内海・日本海―』、中国地方総合研究センター、2012年)
  - ・銀山の二つの顔―地下の「暗闇」と地上の「灯り」／銀山の発見と開発の歴史(『週刊日本の世界遺産』20 石見銀山、朝日新聞出版、2012年)
  - ・石見銀山の文化とその基層(竹田和夫編『歴史のなかの金・銀・銅―鉱山文化の所産―』、勉誠出版)、2013年)
  - ・石見銀山と梅(『世界遺産石見銀山遺跡の研究』3、島根県教育委員会、2013年)
  - ・石見銀山における大久保長安の業績とその影響(『大久保長安に迫る―徳川家康の天下を支えた総代官―』、大久保長安の会、2013年)
  - ・山間地域史研究の視座―石見銀山領の村における生産・流通・資本―(『芸備地方史研究』第284号、芸備地方史研究会、2013年)
  - ・金銀山開発をめぐる鉛需要について(平尾良光・飯沼賢司・村井章介編『大航海時代の日本と金属交易』、思文閣出版、2014年)
  - ・近世大森町の土地貸借売買証文について―「住み分けの曖昧さ」を考える―(『世界遺産石見銀山遺跡の研究』4、島根県教育委員会、2014年)
  - ・鉱山の恵み(水本邦彦編『環境の日本史―人々の営みと近世の自然―』4、吉川弘文館、2013年)
  - ・十九世紀、石見東部における廻船活動と経営について(『山陰地域における地域社会の存在基盤とその歴史的転換に関する研究』、2014年)
  - ・広田家文書について(『石見銀山歴史文献調査報告書』11、島根県教育委員会、2015年)
  - ・石見銀山遺跡とその文化的景観―普遍と固有の二つの価値から―(『世界遺産を学ぶ―日本の文化遺産から―』、東北大学出版会、2015年)
  - ・笹ヶ谷銅山の繁栄／堀氏による銅山経営(『津和野藩ものがたり』、山陰中央新報社、2016年)
  - ・世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の現状と課題(『金属』86-7、アグネ技術世センター、2016年)
  - ・石見銀山遺跡(『日本歴史』第824号、日本歴史学会、2017年)
  - ・近世初期における石見銀山役人宗岡氏の動向と活躍について(『石見銀山の社会と経済―石見銀山歴史文献調査論集―』、ハーベスト出版、2017年)
  - ・含銀銅鉱石を原料とする製錬技術に関する比較研究(『石見銀山遺跡テーマ別調査研究報告書』2、島根県教育委員会、2017年)
  - ・文献資料からみた銀山街道について(『石見銀山街道―やなしお道と森原古道調査報告書―』、美郷町教育委員会、2017年)
  - ・中世石見銀山積み出し港の地理的検討 | 高橋悟・仲野義文・藤原雄高(『島根地理学会誌』第50号、2017年)
  - ・研究紹介・予報 石見銀山に遺された江戸時代の鉱石標本 | 石橋隆・伊藤謙・仲野義文・藤原雄高・渡辺克典(『地学研究』64-4、2017年)
  - ・堀家による久喜鉱山の経営について(『久喜銀山遺跡―堀家文書調査報告書―』第1集、邑南町教育委員会、2018年)

- ・石見銀山の発見と銀生産の開始／石見銀の流通と東アジア海域世界／戦国大名毛利氏と石見銀山／銀山の開発と社会／幕藩制国家と石見銀山／鉱山の経営／石見銀山の近代(『石見銀山学ことはじめ<始>』Ⅰ、大田市教育委員会、2018年)
- ・陣屋町大森の構造と特質(『石見銀山遺跡テーマ別調査研究報告書』3、島根県教育委員会、2019年)
- ・排水ポンプ(『石見銀山学ことはじめ<水>』Ⅱ、大田市教育委員会、2019年)

**【連載】**

- ・銀山あれこれ(『大田市文化協会会報』、1996年～2009年)
- ・なるほど！石見銀山(山陰中央新報、2006年～2008年)
- ・もっと知りたい石見銀山(山陰中央新報生活情報応援誌『りびえーる』、2007年～2010年)

(2019年3月31日現在)